

エコアクション 21

# 環境活動レポート

## 《 目 次 》

|    |                      |    |
|----|----------------------|----|
| 1. | 環境方針                 | 2頁 |
| 2. | 事業所概要                | 3頁 |
| 3. | EA21 実施体系図(役割・権限・責任) | 4頁 |
| 4. | 環境目標と実績              | 5頁 |
| 5. | 主な環境活動計画             | 7頁 |
| 6. | 主な環境活動計画の評価          | 8頁 |
| 7. | 環境関連法規への違反・訴訟の有無     | 8頁 |
| 8. | 代表者による全体評価と見直しの結果    | 8頁 |

2012年(平成24年)5月21日

銀河精密部品株式会社

※この環境活動レポートは、研修用として編集されたものであり、当該事業所は実在しません。

# 環境方針

私たちはお客様に喜んでいただくための最高の精密機械部品の製造技術を 提供し、挑戦する気持ちと構想力で、超一流の技術を追いかけ、仕事を通じて自己実現を 図り、自分自身の成長と会社の発展を一致させると共に、地球温暖化問題への取り組みや、地域の環境活動に自主的、積極的に取り組みます。

1. 環境法規制や地域の約束ごとを遵守します。
2. 環境マネジメントシステムを継続的に改善します。
3. 事業活動の環境負荷及び当社製品・サービスの顧客の環境負荷の低減を 推進します。
  - 電気・ガス・燃料等のエネルギーの使用量を低減し、二酸化炭素の 排出量を削減します。
  - 水の使用量を低減します。
  - 産業廃棄物の排出量を低減し、分別を徹底し、再資源化を推進します。
  - 環境に配慮したグリーン調達を行うと共に、環境に配慮した設備を 導入し、省エネ・低騒音加工を推進します。
  - 加工・組立方法について、継続的な改善を日々行い、加工工程の短縮 化や、工程毎に工数を少なくするなど、環境負荷の少ない工法を推進 します。
  - 配送ルートの効率化や梱包方法の省資源化を推進します。

2011年2月1日 銀河精密部品株式会社  
代表取締役



## 2. 事業所概要

### 1. 事業所及び代表者氏名

銀河精密部品株式会社

代表取締役

### 2. 所在地

[REDACTED]

### 3. 事業内容

精密機械部品の加工及び組立

### 4. 事業所の規模

| 活動規模                 | 平成23年度<br>(平成23年5月～平成24年4月) |      |        |
|----------------------|-----------------------------|------|--------|
| 売上高（百万円）             | 377                         |      |        |
| 従業員数（名）              | 39                          |      |        |
| 敷 地（m <sup>2</sup> ） | 5, 617                      | 本社   | 3, 399 |
|                      |                             | 第2工場 | 2, 218 |
| 建 物（m <sup>2</sup> ） | 2, 359                      | 本社   | 1, 223 |
|                      |                             | 第2工場 | 1, 136 |

#### 対象事業所

|      |            |
|------|------------|
| 本社工場 | [REDACTED] |
| 第2工場 | [REDACTED] |

### 5. 環境管理責任者及び担当者

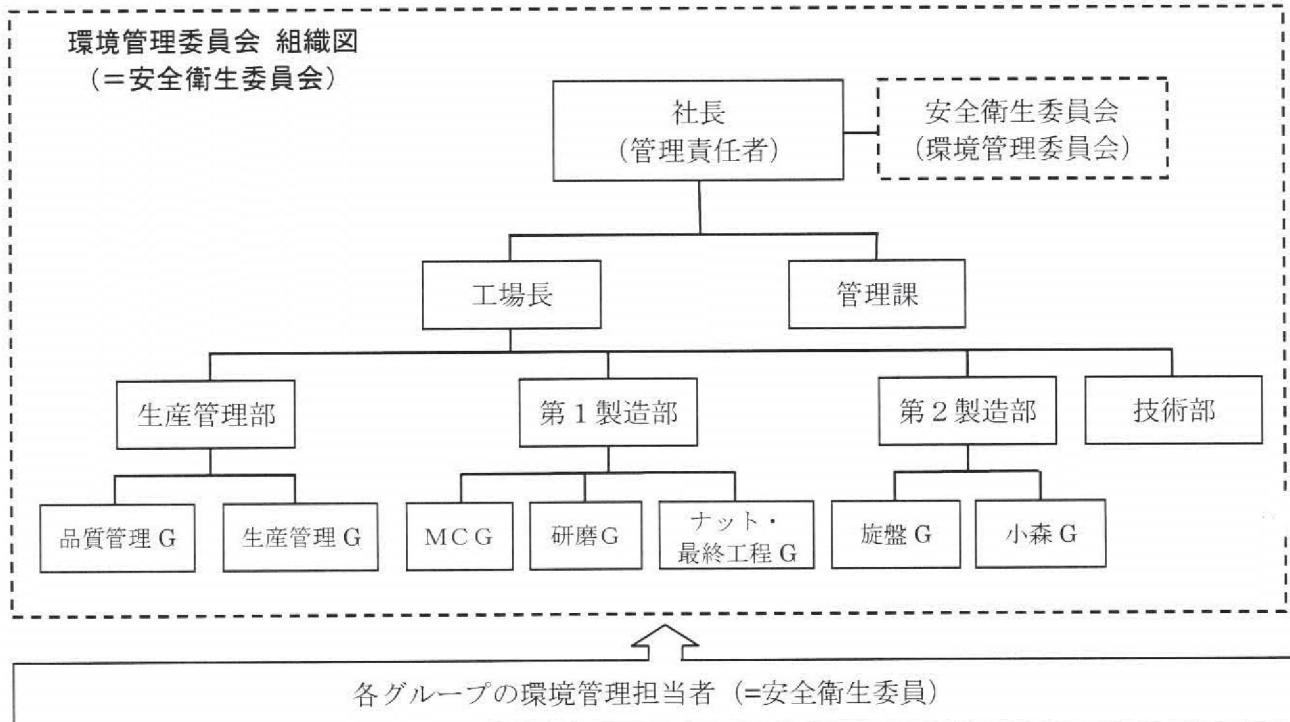
環境管理責任者 代表取締役

環境管理担当者 管理課

TEL:

FAX :

### 3. EA21 実施体系図(役割・権限・責任)



| 責任者                            | 役 割  |
|--------------------------------|--|
| 管理責任者                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境方針を策定する。</li> <li>・EA21 の実行に必要な資源（人・物・金）を用意する。</li> <li>・EA21 の全体的な取り組み状況を評価し、見直し、必要な指示を行う。</li> <li>・環境経営システムを構築し維持する。</li> <li>・環境経営システムの構築・運用状況を社長に報告する。</li> <li>・環境活動レポートを取りまとめる。</li> <li>・環境管理推進委員会（=安全衛生委員会）を開催する</li> </ul> |
| 環境管理委員会                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・原則として毎月 1 回開催し、実施状況の確認と必要な処置を検討する。</li> <li>・是正処置・予防処置の指示と確認を行う。</li> <li>・全体的な見直しのために必要なデータを集計する。</li> </ul>  |
| 環境管理担当者<br>(=各グループの<br>安全衛生委員) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自部門の環境教育を推進する。</li> <li>・自部門の環境活動の具体的な取り組み内容を実践し推進する。</li> </ul>   |

## 4. 環境目標と実績

### -1. 環境目標

| 項目                           | 2010 年度 | 2011 年度 | 2012 年度 | 2013 年度 | 2014 年度 |
|------------------------------|---------|---------|---------|---------|---------|
|                              | 実績値     | 実績値     | 目標(※1)  | 目標(※1)  | 目標(※1)  |
| EA21 の認証と登録                  | (活動開始)  | 取得      | 継続      | 継続      | 継続      |
| 地域環境活動への参加<br>(地域の清掃活動、除雪など) | —       | 参加      | 参加      | 参加      | 参加      |
| CO2 排出量(kg-CO2)(※2)          | 278,079 | 301,478 | 1%削減    | 1%削減    | 1%削減    |
| 電力使用量(kwh)(※2)               | 538,113 | 553,074 | 1%削減    | 1%削減    | 1%削減    |
| 化石燃料                         | ガソリン(㎘) | 2,921   | 3,864   | 1%削減    | 1%削減    |
|                              | 灯油(㎘)   | 5,723   | 11,408  | 1%削減    | 1%削減    |
|                              | 軽油(㎘)   | 2,098   | 1,997   | 1%削減    | 1%削減    |
| 水使用量(m <sup>3</sup> )        | 1,182   | 1,248   | 1%削減    | 1%削減    | 1%削減    |
| ガス(LPG)使用量(m <sup>3</sup> )  | 51.9    | 119.9   | 1%削減    | 1%削減    | 1%削減    |
| 廃油(ton)                      | 3.7     | 4.0     | 1%削減    | 1%削減    | 1%削減    |
| 廃棄プラスチック(ton)                | 4.2     | 4.9     | 1%削減    | 1%削減    | 1%削減    |
| 一般廃棄物(kg)                    | —       | 128.0   | 1%削減    | 1%削減    | 1%削減    |
| 環境配慮文房具の新規購入品目               | 14 品目   | 10 品目   | 3 品目    | 3 品目    | 3 品目    |

(※1)2011 年度以降の各目標値は、前年度に対しての削減目標値を示します。

(※2)二酸化炭素排出量の排出係数は、2009 年度実績の東北電力(株)の

実排出係数(0.000468(t-CO<sub>2</sub>/kwh))を使用しました。

また、2010 年度以降の実績は温室効果排出ガスのうち約 90%が購入電力によるものであるため、二酸化炭素排出量の削減は電力使用量の削減を中心に取り組みます。

### -2. 環境目標の達成状況の評価

2011 年度の環境目標値は、東日本大震災後の電力量使用削減の指令に基づき、15%削減と設定したが、第2工場の本格的な稼働などに伴い目標はクリア出来なかった。

目標値の設定は、全社の電灯を LED 化するなど具体的なエネルギー削減策が必要だが当社を取り巻く受注動向と受注予測を勘案した上で経済効果のある削減策と目標値の設定が課題である。

### -3. 環境実績

#### ■二酸化炭素の排出量

| 項目                       | 2010 年度実績            | 2011 年度実績            | 目標数値<br>前年比 | 結果   |
|--------------------------|----------------------|----------------------|-------------|------|
|                          | 平成 22 年 5 月～23 年 4 月 | 平成 23 年 5 月～24 年 4 月 |             |      |
| 排出量(kg-CO <sub>2</sub> ) | 278,079              | 302,223              | ▲15%        | 8.7% |

#### ■電力使用量

| 項目         | 2010 年度実績            | 2011 年度実績            | 目標数値<br>前年比 | 結果   |
|------------|----------------------|----------------------|-------------|------|
|            | 平成 22 年 5 月～23 年 4 月 | 平成 23 年 5 月～24 年 4 月 |             |      |
| 電力使用量(kwh) | 538,113              | 553,074              | ▲15%        | 2.8% |

#### ■ガソリン・灯油・軽油の使用量

| 項目      | 2010 年度実績            | 2011 年度実績            | 目標数値<br>前年比 | 結果    |
|---------|----------------------|----------------------|-------------|-------|
|         | 平成 22 年 5 月～23 年 4 月 | 平成 23 年 5 月～24 年 4 月 |             |       |
| ガソリン(㎘) | 2,921                | 3,864                | ▲5%         | 2.4%  |
| 灯油(㎘)   | 5,723                | 11,408               | ▲5%         | 99%   |
| 軽油(m3)  | 2,098                | 1,997                | ▲5%         | ▲4.8% |

#### ■水使用量

| 項目       | 2010 年度実績            | 2011 年度実績            | 目標数値<br>前年比 | 結果   |
|----------|----------------------|----------------------|-------------|------|
|          | 平成 22 年 5 月～23 年 4 月 | 平成 23 年 5 月～24 年 4 月 |             |      |
| 水使用量(m3) | 1,182                | 1,248                | ▲5%         | 5.6% |

#### ■ガス使用量

| 項目        | 2010 年度実績            | 2011 年度実績            | 目標数値<br>前年比 | 結果   |
|-----------|----------------------|----------------------|-------------|------|
|           | 平成 22 年 5 月～23 年 4 月 | 平成 23 年 5 月～24 年 4 月 |             |      |
| ガス使用量(m3) | 51.9                 | 119.9                | ▲5%         | 131% |

#### ■廃棄物の排出量

| 項目        | 2010 年度実績            | 2011 年度実績            | 目標数値<br>前年比 | 結果   |
|-----------|----------------------|----------------------|-------------|------|
|           | 平成 22 年 5 月～23 年 4 月 | 平成 23 年 5 月～24 年 4 月 |             |      |
| 廃棄プラ類(m3) | 12                   | 14                   | ▲5%         | 17%  |
| 廃棄油類(㎘)   | 4,100                | 4,450                | ▲5%         | 8.5% |

#### ■一般廃棄物の排出量

| 項目        | 2010 年度実績            | 2011 年度実績            | 目標数値<br>前年比 | 結果 |
|-----------|----------------------|----------------------|-------------|----|
|           | 平成 22 年 5 月～23 年 4 月 | 平成 23 年 5 月～24 年 4 月 |             |    |
| 生活ゴミ等(kg) | —                    | 128.0                | —           | —  |

#### ■環境配慮文房具の新規購入品目

| 項目     | 2010 年度実績            | 2011 年度実績            | 目標数値   | 結果  |
|--------|----------------------|----------------------|--------|-----|
|        | 平成 22 年 5 月～23 年 4 月 | 平成 23 年 5 月～24 年 4 月 |        |     |
| 新規購入品目 | 14 品目                | 13 品目                | 10 品目増 | 30% |

## 5. 主な環境活動計画の内容

### -1. 二酸化炭素の削減

#### (1) 電力・灯油の削減

- ①暖房は、室内温度 20~26℃を目安として、使用していない場所は暖房を止める。
- ②冷房は、室内温度 26~28℃を目安として、使用していない場所は冷房を止める。
- ③照明は、打ち合わせなど必要な室内のみ点灯し、休憩時間、昼休みは消灯する。

#### (2) 自動車燃料の削減

- ①車両使用時はエコドライブを心がける。
- ②駐停車時はアイドリングストップを行う。
- ③定期的にタイヤの空気圧を点検する。
- ④納品、集荷などは最短のルートを走行する。

### -2. 資源の省力化

- ①使用済み用紙の裏面を検査成績書やメモ紙などに再利用する。
- ②ミスコピーなどは裏面を再利用する。
- ③事務消耗品の購入はエコマーク付きを優先する。
- ④廃棄物は分別し、リサイクルする。

### -3. 節水の励行

- ①トイレの流し水は1回使用とする。
- ②トイレの流し水の貯水量を少なくする。
- ③手洗い場などには、節水の啓発の表示を行い、使用量を抑制する。

### -4. 地域への環境活動の参加

- ①周辺の清掃活動を行う。
- ②路肩の除雪を行う。

### -5. その他の活動

- ①環境配慮材料の購入。
- ②製造不良を減らし、材料の無駄や廃棄量を減らす。
- ③梱包資材の省力化・削減を行う。

## 6. 主な環境活動計画の評価

### -1. 二酸化炭素の削減

- ・検査室や組立室などに「省資源・廃棄物点検表」などを掲示し、工場内の電灯消灯などの意識付けが社員全体へ浸透することが出来た。
- ・社有車のアイドリング時間が30分から10分以内に収まる様になった。

### -2. 資源の省力化

- ・廃プラスチックの圧縮化で廃棄回数が減少した。
- ・ペットボトルやビン、缶などの分別が徹底し、工場内も整然となった。

### -3. 節水の励行

- ・節水の啓発表示が奏功し、水道水の出しつまなしや、トイレの流し回数が減った。

### -4. 地域への環境活動の参加

- ・周辺の清掃を実施。

### -5. その他の活動

- ・グループ毎に環境活動提案書を掲示し、省エネ・省資源活動の意識付けを行った。
- ・安全パトロールに加えて環境活動提案に基づく環境パトロールの実施を始めた。

## 7. 環境関連法規への違反・訴訟の有無

- (1) 廃棄物処理法、水質汚濁防止法、浄化槽法、消防法など環境関連法規への違反はありません。
- (2) 過去3年間、近隣からの環境に関する苦情や、環境省関連機関や山辺町役場、消防署等からの違反指摘や訴訟等などはありません。

## 8. 代表者による全体評価と見直しの結果

- ・2010年度は、取組初年度ということもあり、システムへの理解が不十分なまま、過ぎてしまったが、2011年度からは、ある程度、前向きな取組ができたと思う。2012年からは、さらに積極的な削減活動を行っていきたい。
- ・2011年度の消費量は2010年度と比べ、第2工場への展開分が増えているが、これから下がってくるものと思われる。